

側文書

FILE

TRANSLATION BY Nataoka COMPLETED

CHECKED BY Toshiro Sugan COMPLETED June 13

TYPED BY

COMPLETED

證據書 第三十二号

陸軍省 布告 陸通 報

自一九四一年(昭和十六年)七月一日起至一九四一年七月三十一日

至九月七日止

(十五) 一九四一年(昭和十六年)十月二十一日 西防衛管区ヨリマーシャル宛

主 題 マーシャル警告に対する返信

(十五) 秘

受信 一九四一年(昭和十六年)十月三十一日

午後十一時十八分

自一カリフォルニア州、サンフランシスコ、西防衛管区司令部  
宛一ダグラス・マッサーレル元帥

十一月二十八日

十月二十七日、貴官無電ニヨリ採ラレタリ。以下處置報告

貴官無電ハ ADC、第二空軍、第四空軍、第九

PCAD、太平洋沿岸領域扇形戦区、第九軍地区、各將領

基

第十一、第十二及第十五海軍地区指揮官宛 移牒セリ。

全港口ヲ扼スル任地ハ引續キ人員ヲ配備セリ。各港防衛ニ

一砲兵中隊ヲ當テ防衛引續キ警戒中。

甚ニ破壊行動ニ對スル防護ハ強化サレタリ。步兵六大隊

及ビ所要ノ自動車輸送ハ CQ NCA (軍司令部) 利用シ得ル

(紅字)

下ニ於ケル其ノ使命ヲ 兼行スベク直ニ利用シ得ル

待機セリ。中時軍團地区及ビ海軍地区司令官ト、接觸ハ

前断ヲ保持セリ。太平洋沿岸領域及ビ副扇形

戦区兼ラインホー、五、之ヲ決定シ、危険地域ノ

防衛実施ノ為メ所要ノ偵察ハ行ハレタリ。ニ中隊

歩哨勤務為メE、CG SF Pニ又一中隊工兵島折留外人為メ

CG NCA (九軍団地区) 司令官 配備 此、報告

WPL五ニヲ拡張シ 太平洋沿岸及日本船舶ヲ含む 并ソレニ付小官、

十一月二十五日CG GHQ (總司令部) 宛小官、 採リタル処置、概要ヲ述バシテ無電ヲ参照アリタシ

WLP五ニ 又、ラインボー五 準備 附台

洋、防衛 (一五A) ニ於ケル空軍ニ作戦ヲ指揮スヘキ權

限リト官ニ與ラシルカ、空軍ノ行動ヲ指定スル 指令カ登

セラシト官ニ斯ニ指令ノ寫ヲ送達サレシトテ 謀ホシテ止マ

軍需品及ビ近戰ヲ、爆撃機、其タニ不足

ナキ限リ、此等ノ進捗ナリ使用セシメザルニ付 一度

敵對行動開始セラレシカ、此ノ指揮權 ハラインボー五

アライナニヨリ別當テラシタル 任務ヲ遂行スヘキ 待機トシテ

今々其進捗成否

(<sup>4</sup> 真珠湾攻撃<sup>4</sup> — 第十四卷 — 三三〇 — 三三一頁)

7

ドウキツト  
指揮官